

募集情報

1. 定員

30名 ※定員になり次第締め切ります（申込は1週間前まで）

2. 受講料

① 一般：8,000円 ② 学生：6,000円 ③ SL-A（上級講座修了者）：無料

3. 講座会場

TKP 九段下神保町ビジネスセンター 2階カンファレンスルーム2A

住所：東京都千代田区神田神保町3-4柳川ビル2階

※東京メトロ半蔵門線・東西線、都営地下鉄新宿線 九段下駅5番出口 徒歩1分。

4. 受講資格

災害救援ボランティアに必要な基礎的知識・技能を身につけることを希望する方とします。

18歳未満の方は保護者の承諾が必要です。

受講までの流れ

① 受講申込書をご送付下さい

別紙の受講申込書に記入のうえ、事務局までFAXまたは郵送にてお送りください。

※当委員会ホームページからお申し込み可能です。

② 受講資料と受講料振込用紙が届きます

講座初日の約2週間前に、受講書類（諸注意、地図、受講料振込用紙等）がお手元に届きます。

③ 受講料をご入金下さい

受講料を期日までにご入金ください。入金確認ができた方は、講座受講中の不慮の事故発生に備えて、事務局で一括して保険加入手続きをいたします。

④ 当日、会場へお越し下さい

認定証の交付

講座の全科目を修了し、成果が確認された方には、災害救援ボランティア推進委員会より【セーフティリーダー認定証】が交付されます。



セーフティリーダーの認定と活動

講座2日間を修了したセーフティリーダー(SL)は、【公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク】に入会することができます。入会すると、SL災害ボランティアネットワークから各種行事・訓練・施設見学会等のお知らせ及びニュースレターなどが送られます。

希望者にはボランティア保険の加入や、【SL制服】の貸与も可能です。SL制服は平時、災害時を問わず使用することができます。ぜひ、講座を受講し、SLとして一緒に活動をしましょう。入会に関することは、講座の中でご説明します。

受講申込み及びお問合せ先

《災害救援ボランティア推進委員会 事務局》

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-15-2 九段坂パークビル3階

TEL.03-6822-9900 FAX.03-3556-8217 URL <https://www.saigai.or.jp/>

午前9時半～午後5時（土日・祝日・年末年始を除く）※受講申込書はEメールからでもダウンロードできます。



(赤)大地震 と (青)気候変動

災害救援ボランティア講座

気候変動編 第3期

募集要項

日程：2024年 4月20日（土）

4月21日（日）

会場：TKP 九段下神保町ビジネスセンター

カンファレンスルーム2A

主催：公益財団法人日本法制学会 災害救援ボランティア推進委員会

共催：公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク

主催団体紹介

【災害救援ボランティア推進委員会】

阪神・淡路大震災の教訓をふまえて、1995年7月に大都市での大地震災害に備えたボランティアのリーダーを養成することを目的に結成された委員会で、公益財団法人日本法制学会内委員会です。設立時代表は元内閣官房副長官、石原信雄、現会長は香山充弘、元総務省事務次官です。
1995年12月に災害救援ボランティア基礎講座を開講し、以後、今日まで首都圏を中心として講座を開催し、約1万2千人以上のセーフティリーダー（略称はSL）を養成してきました。
そして2023年4月に新講座となる「気候変動編」を開講しました。

【公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク】

養成されたSLによるボランティア活動組織がSL災害ボランティアネットワークで2014年3月に、公益認定を受け、公益社団法人として首都圏を中心に活動しています。

【公益財団法人日本法制学会】

1913年3月に創立された組織で、1951年8月に財団法人、2014年4月に公益認定を受けて公益財団法人となり、公益目的事業として災害救援ボランティアリーダーを養成しています。現会長は村田吉隆、元防災担当大臣です。

気候変動編の開催趣旨

この度の令和6年能登半島地震により犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

本会は現在、今回の能登半島地震に際して、被災者の生活再建支援、被災地の復旧・復興支援のボランティア活動を進めているところです。地震多発国の日本においては、突発的に発生する大地震災害に備える地域での活動、被災地支援活動は重要な活動であり、本会は1995年以来、この活動を推進してきました。

同時に近年、地球温暖化による気候変動に伴う気象災害での被害が世界と日本で深刻な問題となるなかで、日本でも、国際的な枠組みを取り入れた気候変動適応法が2018年6月に制定され、2020年6月には「気候変動×防災」に関する共同メッセージが、環境大臣と内閣府（防災担当）大臣連名で発表され、2023年4月に気候変動適応法が改正されるなかで、気候変動に適応した新たな活動が求められるようになりました。

そこで本会は、気象災害での新たな被害に対応するために災害救援ボランティア講座（気候変動編）を2023年4月から新たに開講しています。この講座では気候変動により激甚化する気象災害での被害を回避、軽減する活動、気候変動適応活動を進めるリーダーを養成することを主な目的としています。

本会が想定する被害とは、第1は最大想定の上風速、雨量での大規模風水害、第2は暑熱環境による大規模健康被害です。これらの分野では新たに開始された防災気象情報、熱中症警戒アラート等の警報を活用した事前の避難行動等により、人的被害を回避、軽減する政策が重視されるようになり、住民とボランティアによる創意工夫ある新たな活動が求められるようになっていきます。

これからの世界と日本では、大地震災害と気候変動災害という2つの災害に対応していくことが求められています。今回の気候変動編講座、また別途開催される大地震編の講座への皆様の参加をお待ちしています。

2024年2月

講義科目と時間割

各講義後に10分休憩があります。

4月20日（土）

| | |
|---|-------------|
| オリエンテーション・事務連絡 | 09:40～09:50 |
| 第1講義 気候変動と災害ボランティア活動 災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野 次郎 | 09:50～10:50 |
| 第2講義 気候変動と気候変動適応策 国立環境研究所気候変動適応センター・センター長 脇岡 靖明 | 11:00～12:10 |
| 【昼休憩】 | |
| 第3講義 防災気象情報と避難行動 災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野 次郎 | 13:10～14:20 |
| ワークショップ1 防災気象情報とマイタイムライン 災害救援ボランティア推進委員会総合防災部長 天寺 純香 | 14:30～16:30 |
| 認定と活動の説明 事務局 | 16:30～16:40 |

4月21日（日）

| | |
|---|-------------|
| 第4講義 気候変動と日本の気象災害 横浜国立大学総合学術高等研究院客員教授 元気象庁長官 橋田 俊彦 | 09:40～10:50 |
| 第5講義 気候変動を踏まえた水災害対策のあり方 一財)水源環境センター理事長 元国土交通省海外プロジェクト審議官 平井 秀輝 | 11:00～12:10 |
| 【昼休憩】 | |
| 第6講義 暑熱環境と熱中症対策 自治医科大学附属さいたま医療センター 救急救命センター長・教授 守谷 俊 | 13:10～14:20 |
| ワークショップ2 災害時の熱中症対策を考える 災害救援ボランティア推進委員会総合防災部長 天寺 純香 | 14:30～16:30 |
| 閉講式・認定証授与 | 16:30～16:40 |

※講師の都合上、日程・講義順が変更となる場合があります。